

2022年度講義内容一覧表(土木)

会場

エッサム神田ホール2号館

講義日	講義会場	時間	講義順 コード	カリキュラム コード	講義概要	初級/中級 レベル区分	講義 区分 ※	講師(所属)
9/27 (火)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	1	D16	鋼橋架設技術 各種架設工法とその選定、架設計画時の工法別留意点 架設時の不具合事例・事故事例、安全対策	中級	2	大下 嘉道 三井造船鉄構エンジニアリング(株) 建設本部 西部工事部 主管
		15:00~16:30	2	D15	社会インフラとモニタリング ・モニタリングとDX ・各種センシング/測位技術 ・データプラットフォーム/三次元モデル ・UAV・ロボット等の利活用	中級	2	阿部 雅人 株式会社ベイスコンサルティング
9/29 (木)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	3	D3	橋梁計画 橋梁計画で検討を必要とする事項、設計計算書に記載を必要とする事項 橋梁計画の手順(橋長・支間割・橋梁形式・構造の決定要領) 発注者・設計者・施工者の役割	初級	1	鈴木 泰之 (株)建設技術研究所 東京本社 技術統括部 ブルーエンジニア
		15:00~16:30	4	D4	設計基準 技術基準類の体系、H29道示の設計法のポイント、 今後の設計法の展望	中級	2	野上 邦栄 東京都立大学 客員教授
10/4 (火)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	5	D7	・鋼橋の耐震・制震設計に関するQ&A →大震災から如何に学んできたか ・現行の耐震・制震設計の高度化に対する課題	中級	2	宇佐美 勉 名古屋大学 名誉教授 名城大学総合研究所 研究員 (公財)名古屋産業科学研究所 上席研究員
		15:00~16:30	6	D6	疲労設計 鋼構造物の疲労損傷事例 疲労試験とS-N曲線 耐久性の評価方法 疲労強度向上法	初級	1	山田 健太郎 名古屋大学 名誉教授 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋(株) テクニカルアドバイザー
10/6 (木)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	7	D8	構造物の設計のための振動の基礎知識 1自由度系と多自由度系の振動と動的現象の周波数分析 および固有振動特性と減衰特性	初級	1	矢部 正明 一般財団法人首都高速道路技術センター 上席研究員
		15:00~16:30	8	D9	耐震設計・免震設計・制震設計 構造物を設計する上で知っておきたい地震動特性と耐震・免震・ 制震設計を行う上での留意事項および地震被害から学ぶべき事	中級	2	
10/12 (水)	エッサム神田 ホール2号館	15:00~16:30	9	D2	鋼製基礎・鋼管杭	初級	1	松原 秀和 (一社)鋼管杭・鋼矢板技術協会 技術統括委員 JFEスチール(株) 部署・役職未確認
		15:00~16:30	10	D19	特別講義1 電力鋼構造物の設計と維持管理 ・電力構造物(水門扉、水圧鉄管、送電鉄塔など)の概要 ・設計・維持管理の基本と構造解析技術等の活用 ・性能照査型設計体系への移行見通し ・大規模自然災害への対応	中級	3	山本 広祐 (一財)電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部・研究統括室長
10/18 (火)	エッサム神田 ホール2号館	15:00~16:30	11	D20	特別講義2 AI(人工知能)の基礎と将来展望 AI(人工知能)の基礎と将来展望についての解説 AIの基礎として、AIの歴史、AIの基礎的事項についての説明、 今までに開発された種々のAIの手法の紹介 現在AIで最も有望な技術と言われている深層学習(ディープラーニング) について簡単な例を用いた詳細な説明等	初級	3	古田 均 大阪公立大学 特任教授
		13:15~14:45	12	D1	鋼材の基本特性、橋梁用高性能鋼の紹介など 鋼材性能 高性能鋼 橋梁用高降伏点鋼板 SBHS	初級	1	高木 優任 (一社)日本鉄鋼連盟 橋梁用鋼材研究会 日本製鉄(株) プロジェクト開発部 プロジェクト開発技術室長
10/20 (木)	WEB	15:00~16:30	13	D17	土木事業のリスクマネジメント プロジェクトマネジメント 土木建設プロジェクトにおけるリスクと契約のリスクマネジメント	初級	1	大西 正光 京都大学防災研究所 准教授
		13:15~14:45	14	D18	鋼、合成桁橋の火災に対する対応について 事例紹介 鋼、コンクリートの高温時、加熱冷却後の常温時強度 加熱冷却後の頭付きスタッドのずれ性状 火災による熱影響を受けた合成桁の耐力力 など	初級	1	大山 理 大阪工業大学 教授
10/25 (火)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	15	D13	品質管理 ・世界工業技術の三大失敗 ・近年の国内外での品質トラブル・事故事例に学ぶ ・リスク管理ー思考停止、マニュアル病、失敗は伝わらないー ・想定外を克服して「製品品質」から「技術品質」へ	初級	1	佐藤 浩明 (一財)橋梁調査会 関東支部 調査役
		15:00~16:30	16	D14	鋼構造の維持管理 鋼橋の損傷・劣化、点検・健全度診断 維持補修・補強、インフラマネジメント	初級 ~ 中級	1	高木 千太郎 (一財)首都高速道路技術センター 上席研究員
10/27 (木)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	17	D5	座屈設計と鋼構造 限界状態設計法、部分係数設計法、座屈設計など	中級	2	松村 政秀 熊本大学 教授
		15:00~16:30	18	D12	高力ボルト接合	初級	1	山口 隆司 大阪公立大学 教授
11/1 (火)	エッサム神田 ホール2号館	13:15~14:45	19	D10	複合構造 概説 基本原理 合成床版 複合橋梁と設計、合成桁の設計 海外基準 ASHTO LRFD ECと道示の違い ASHTO LRFD設計計算例 ASHTO LRFR(維持管理設計法)	中級	3	奥井 善昭 埼玉大学 教授
		13:15~14:45	20	D11	製作全般 原寸 翻書 切断方法 加工 組立、 溶接施工管理 仮組立 輸送 設計・製作の自動化・省力化 品質管理	初級	1	村上 貴紀 宮地エンジニアリング(株) 千葉工場 技術研究所 所長 生産技術グループ グループリーダー

※1 カリキュラムコード D17・D18は、講師・参加者ともWebでの聴講のみとなります。(会場での配信は行いませんのでご注意ください)

※2 日程は、都合により変更する場合があります。

※3 希望者が一定人数に満たない場合は、中止することもあります。

※4 新型コロナウイルス感染症の影響により今後中止となる可能性がありますご理解いただけますようお願い申し上げます。

※講義区分

- 1: 新人研修用プログラム
- 2: 中堅技術者への技術の伝承を主眼とするプログラム
- 3: 海外志向、展開を促すプログラム